

## アメリアンスクール・イン・オキナワ概要(2017年4月1日現在)

### 1. 児童生徒数

幼稚園の部: 児童数	3名
小学生の部: 児童数	41名
中学生の部: 生徒数	23名
計	67名



### 2. 教職員数

校長/副校長	2名
クラス担任	8名
日本語教員	3名
英語教員	2名
事務・経理	2名
常勤教職員	計 17名(うち2名はおきなわ女性財団から派遣の日本語指導員)
非常勤教員	3名

### 3. アメリアンスクール概要

アメリアンスクールは、1998年にアメリアンの母親らによって設立された民間の教育機関です。特定非営利活動法人ですが、私立学校や各種学校、専修学校ではありません。4歳から15歳までの児童生徒を受け入れ、月曜日から金曜日までの全日制の教育を施しています。放課後には学童があります。

生徒たちは、自宅のある地域の公立学校の生徒でもあります。アメリアンスクールに通うことが在籍公立学校の出席として認められており、卒業時には、在籍公立学校とアメリアンスクールから卒業証書を受け取ります。

生徒たちの多くは、アメリカ人を父親、日本人を母親とする、アメリアンの子どもたちです。沖縄では年間およそ300人が出生しています。ほとんどは公立学校に通っていますが、言葉の問題、家庭の事情、地域の状況などの理由から、アメリアンスクールで学ぶことを必要としている子どもたちもいます。

アメリアンスクールでは、日本語と英語による授業を行っています。日本語の教科書は、公立学校で使われているものも使っています。

中学校課程を修了する前に公立学校に移ったりアメリカに転居したりする生徒もいますが、設立から18年間で64人の卒業生を送り出しました。そのほとんどは、沖縄県内の高校に進学しています。

授業料は月31,000円です。ひとり親世帯などの経済的困窮世帯には1か月に5,000円の奨学金があります。

アメリアンスクールの主要な財源は、保護者による授業料収入と寄付と沖縄県の補助金です。宜野湾市にめぐきを使用させていただけるために家賃負担がなく、沖縄県から補助金をいただいていることや、日本語指導員を派遣いただいていることが大きな支援となっています。しかし、国による公的な教育予算がつかず、運営はきわめて厳しい状況にあります。

### 4. 施設概要

アメリアンスクールの校舎は、宜野湾市立人材育成交流センターめぐきの1階部分を宜野湾市から貸与いただいで使用しています。1階には、教室7、職員室1、畳部屋1、倉庫1、生徒用トイレ(男・女・障害者用)、教職員用トイレがあります。各教室には、15人までの生徒が学べるスペースがあります。

施設の問題点として7教室しかないため、3つの教室で複式学級(1学級で複数の学年の生徒が学ぶクラス)を余儀なくされていることが挙げられます。海外から転居してきたばかりの生徒やカウンセリングを要する生徒のための個別指導を行うスペースもなく、廊下や屋外の玄関スペースを使っています。また、図書室、理科実験室、体育館などありません。屋外の運動スペースはバスケットボールコート1面分ほどの広さで、十分ではありません。2階には3つの研修室があり、事前に予約すれば教室として利用できますが、宜野湾市の行事が組まれている日や日本の祝日には使用できません。